

AA visiting school workshop at 竹中大工道具館

<概要>

イギリスの建築の名門AAスクールが世界中の大学や企業と共に世界各地で行うワークショップ「AA visiting school」を日本で開催します。同校は例年のワークショップにて開催地の文化や素材を活かしたモックアップやインスタレーションを作製しており、今回は日本の伝統木造技術をテーマとし、京都や奈良の古建築の見学や有識者のレクチャーを通して新しい技術と伝統的な技術をいかに組み合わせ、伝統技能の伝承や道具について考えながら形態だけではない社会や人間と密接に関係した「ものづくり」について考えていきます。

<目的と意義>

BIMやコンピューテーショナルデザインといった最新技術の普及は目覚ましい一方、そうした技術と伝統技術を如何に組み合わせ、将来へ繋いでいくかは建築専門の当社においても非常に重要な課題です。棟梁精神と大工技術を後世に伝える竹中大工道具館と竹中工務店大阪本店において、建築の伝統と革新について共に考え、社会に訴える機会としたいと考えています。



竹中大道具館



過去のAA visiting schoolの様子

<テーマ> (仮) 日本伝統木造建築の構造と意匠をヒントにした木造パヴィリオン (塔)

日本の伝統木造建築の構造的、意匠的な特徴を実際の木造建築の見学や、職人によるレクチャーを通して学び、構造設計やコンピューテーショナルデザイン、大工やファブリケーターなど各分野の専門家の手ほどきを受けながら木造の「塔」を設計、製作します。

<詳細>

主催：Architectural Association School of Architecture

協力：株式会社竹中工務店・公益財団法人竹中大道具館

時期：2019年3月13日（水）～3月24日（日）12日間

対象：国籍を問わず、学生、若手研究者・建築家。20-30名程度

場所：竹中大道具館、竹中工務店大阪本店（その他京都奈良での古建築見学、吉野の製材所見学等を予定）

参加費：£ 700/人（交通費、宿泊費は除く。£ 60のVisiting membership feeを含む）

申込先：<https://www.aaschool.ac.uk/STUDY/VISITING/osaka>

締切：2019年1月31日（木）

<講評・指導予定者>

阿保昭則・久間哲二郎（耕木社）

Camiel Weijenberg（Weijenberg ltd）

杉田宗（広島工業大学）

早津毅（キングストン大学）

Ana Ilic（逢甲大学）

Mohammed Makki（AA school）

他に建築家と竹中工務店から数名が参加の予定

AA school visiting schoolの過去の開催例

<https://www.aaschool.ac.uk/STUDY/VisitingProgramme.php>